



辻川だより

ホームページ



<https://village6567.com/>

第77号 [2026-Ⅱ号]

令和8年9月12日

辻川区自治会 発行

辻川公民館 〒679-2204 福岡町西田原 1228-2 (公民館の電話・ネット環境は令和8年4月解約)

辻川区の皆さまへ

区長 田崎 正和

現公民館地について、町による公告が終わり、登記関係者がこの期間中に異議を述べなかったことを証する情報が、8月21日に町から提供されました。この情報提供をもって認可地縁団体辻川区自治会として法務局へ91年ぶりの移転登記を申請することができることになります。区民・役員関係者の皆様のご理解ご協力により昭和53年の現公民館建設時からの懸案事項がやっと解消しました。



昭和3年建設の旧公民館
(昭和50年頃撮影)

一方、新公民館建設に向けては、区の流動資産(貯蓄)を少しでも増やしたいと今年度総会で提案した「一部ペイオフを外す」件について7月隣保長各種団体役員会議で次の①と②を決定しました。①預ける金融機関を今の3行から2行(D銀行・E金庫)増やし計5行に各1000万円の定期加入(これはペイオフ対応)②既に1000万円の定期(ペイオフ対応)をしているB金庫とC金庫でさらに利率の良い期間1年の定期に加入(この2商品のみ両金庫が経営破綻した場合、預金は全額戻ってこないが、他の全ての辻川区の預金は守られている)。これらの措置により1年間の利息は今より25万円弱増える見込みです。1年後の夏にはこの措置を継続するか否かを再検討します。ご理解をお願いします。



7月河次郎2号12年ぶりに
ふるさと駒ヶ岩(背景)へ

協議員会は今

6〜8月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。

- ① 公民館玄関スロープと辻川観光交流センター西端に放送施設を新設
- ② 7月行政懇談会質問内容
- ③ 自立のまちづくり交付金事業
- ④ 民俗学のタペ内容検討と準備
- ⑤ 辻川区ふくテジ回覧板登録推進
- ⑥ 区貯蓄一部のペイオフを外す対応
- ⑦ 各種補助事業実施と補助金申請
- ⑧ 町の花苗配布全てなしの代替措置
- ⑨ 今秋の敬老祝賀事業補助金の支給対象者(75歳以上)は区内153名

お知らせ

- 6月19日、公民館玄関に鉄板のスロープ完成。合わせて7月、南側溝にも鉄板のふたが付いた。
- 非常時用のトイレ・テントセット10組登記所跡倉庫に配備。
- 新公民館建設予定地への造成土の一部が7月に搬入され、剥ぎ寄せた表土と共に仮置き中。
- 放送ライン延長工事を辻川観光交流センター西端で実施。15隣保歩道橋南へ届くようになった。また、18隣保へのスピーカー付替えも8月25日に実施(以上で3年計画の放送施設改善工事は完了)。



当年度の予定

- ◇ 9月20日(日) 第12回シニアクラブシルバーフェスティバル
- ◇ 9月27日(日) 道普請
- ◇ 10月4日(日) シニアクラブ主催 鈴の森神社掃除
- ◇ 10月10日(土)・11日(日) 秋祭り宵宮・本宮
- ◇ 11月8日(日) 第5回グランドゴルフ大会
- ◇ 11月15日(日) 自主防災訓練 危険・安全箇所確認まち歩きも
- ◇ 12月5日(土) 隣保長・各種団体役員会議

事業報告

- ◆ 5月24・30・6月7・13 辻川区ふくテジ回覧板登録 今年度総会やその後の全戸配布の案内を受け4回の登録機会を設けた。
- 7月末現在で192名が登録。ふくテジ回覧板の当初の目的は自治会放送や回覧板をいつでもどこにいてもすぐに確認できるようにするため。その他の機能としては、広報ふくさきの要約が音声つきで配信されたりする。今後は災害時の安否確認や避難情報の受け取りもできるようにしたい。ぜひ登録を!

7/15 辻川・田尻グランドゴルフ
交流大会の成績報告
準優勝 駒田美幸
4位 木中公子・上延多美子

7月18日(金)

- ① 交通安全教室 1学期終業式を終えた小学生とふくろう体操後のシニアクラブメンバーを中心に30名が福岡警察の担当官から自転車青切符などの話をうかがった。質問がたくさん飛び出し有意義な集会になった。
- ② 自治会研修会(青少年健全育成・人権教育) 35名の参加者が引きこもることは決して悪いことではない。「ひきこもりを肯定する」II「自分を受け入れる」ことが引きこもり状態から抜け出るポイントになることなどを学んだ。
- ③ 行政懇談会 (参加者19名) 尾崎町長からの町政報告、役場幹部の皆さんからは辻川区からの質問に対する回答があった。町財政が厳しい中でも夢が共有できるといいのだが。

5月31日 鈴の森
山もも枯枝伐採



7月12日
公民館前に日々草
植え付け



福岡町子ども会球技大会「7/4」

コロナ禍後、オープン参加に変わって4年目の町大会。ソフトボールには男子のみの3チームが、バレーボールには男女混成(今年から)の7チームが参加した。意欲とレベルが高いチームばかりであったが、ソフトボールは見事準優勝に輝き、バレーボールもチーム丸となってよく健闘した。家族や友のサポートに感謝。



◆8月1日(土) 民俗学の夕べ

最高気温 37.9℃ 猛暑日の夕刻、第28回民俗学の夕べが開催された。一週間前の灯籠吊りや鈴の森の案内板・石碑の水拭きは隣保長さんに、当日朝の資材搬入・設営は子ども会・中学PTA・青年団にお手伝いいただいた。各種団体役員さんをはじめ多くの区民の皆さんの協力なくして継続は難しい。特に人材不足の音響関係は助っ人が望まれる。



◆8月16日(日) 第45回自治会親善ソフトボール大会
1 回戦 〇 13 - 〇 田口
2 回戦 〇 12 - 3 西治
3 回戦 ● 3 - 4 大門
完封勝利から始まったチー

社寺行事の報告

◆7月5日(日) 夏えびす
心配された雨も7隣保の皆さんの思いが天に通じ大きな崩れなく神事を執り行うことができた。恵美酒社がこの地に合祀されてから120年。大正期には今の「民俗学の夕べ」の演芸のような興行が行われていたそう。

◆7月12日(日) 夏まつり
例年より10日余り早く8日に梅雨が明けた鈴の森神社で、辻川と井ノ口の役員・宮当番によって氏子の皆さんの無病息災と五穀豊穡を祈った。



うしをみやこうイ



和太鼓神華



じゃんけん大会



出演小学生集合 鬼太鼓



射的

辻川鬼太鼓には今夏も小学生6名が登場。小鬼、ナレーター、餅まき役として活躍した。

◆8月23日(日) 地藏盆



昭和後期まで観音講の皆さんがお祀りされていた(このお堂左手の格子戸の中には十一面観音菩薩立像)。最近では後藤さんら隣保、内藤さん(12)、堀さん(8)のお世話で何とか続けられている。感謝



2024.08.23



△辻川。ベンチの熱い「ヤジ」を追風に快速撃！惜しくも準決勝進出は逃したが、辻川ファミリーの団結力は今夏も福岡No.1だった。

秋祭りのご案内

★秋祭りまでの予定

9月13日(日) シデ・看板設置
9月26日(土) 練り子会議
9月27日(日)
◇9時 幟の設置
◇10時 しめ縄張り
◇15時 肩合わせ(初回予定)
10月8日(木) 大鳴らし
◇20時頃 肩合わせ(2回目)

◆今年から辻川区ふくテジ回覧板で辻川屋台の所在を速報予定。登録希望者は最寄りの協議員まで。
◆申込みれた昼食は早めに受取りを

★宵宮 10月10日(土)
屋台蔵 集合 8時30分
蔵出 8時50分
鈴の森神社宮入 12時10分
子供奉納相撲 13時10分頃
宮出 13時45分

★本宮 10月11日(日)
屋台蔵 集合 7時40分
蔵出 8時

★熊野神社本宮の予定

神輿渡御 午前10時30分〜12時
宮入開始 午後1時20分
屋休憩 (辻川は3番目)
宮出開始 午後2時50分頃
宮出完了 午後

★秋祭り区内申し合わせ「一部」

※ 服装は、法被の下には白色シャツ、紺または黒色のズボンか白色のまわし(締込み)、紺または黒色の地下足袋
「注意」令和4年から始まった新法被への移行は今年の秋祭りまで

※ 内花(祭花)のお願いは10月12日午後から青年団が伺う。ご協力をお願いします。
※ 弔事の扱いは、3親等以内、仕上げの法要までとなっている。これ以外は秋祭りに参加していただいても構わない。

★ 乗り子は総勢24名(内、4年生新乗り子は10名)

本宮 宮入

《西側》 拝殿
4. 井ノ口
6. 西野
8. 八反田
10. 西光寺
12. 北野
《東側》
1. 田尻
2. 大門
3. 辻川
5. 吉田
7. 長目
9. 加治谷
11. 中島
13. 亀坪
舞台
※宮出は宮入とは逆順に(辻川の休憩場所は屋台の東)



その理由は左の小地藏の裏には「願主 丑年男 卯年女」の墨書きがあり、柳田は明治8年亥年生まれ。右地藏には墨書きも刻銘もなかった。

編集後記など

▼前号で予告していた「区有文書に見る戦時中の辻川」は紙面の都合で次号へ。▼大正11年(1922)に新調された2代目辻川屋台の狭間が3年後に完成したことを裏付ける写真(下)は大門の関健太郎氏からの情報。この狭間が朝来市和田山の安井地区の屋台で現存しているとのこと。▼8/2・3と二日続けて、昨年記録した福岡アメダス最高気温を更新する39.6℃と39.4℃。熊本被災地の映像に心が痛む。▼令和10年度末をもって福寿園が閉鎖されることになった。昭和33年の町養老院開院から70年の歴史に幕が降ろされることに。この地の歴史は明治35年(1902)の神崎高等小学校に始まる。その後、振武館→県保健所→養老院と変遷。跡地利用は今のところ未定とのこと。120年前(明治40年)、当時の辻川組(区)が建設に関わった振武館については歴史読本36話参照を。▼同読本68話の地藏堂に関する新情報。昭和2年(1927)柳田國男53歳のときに三木家拙二氏宛、祖母小鶴の追福のために旧地藏堂に小さな地藏を置きたいと手紙を送っている(記念館図録No.5)。この地藏の奉納が実現していれば向かって右側のもの(上写真)のようだった。



昭和26年頃の2代目屋台(前田亮平氏蔵)